

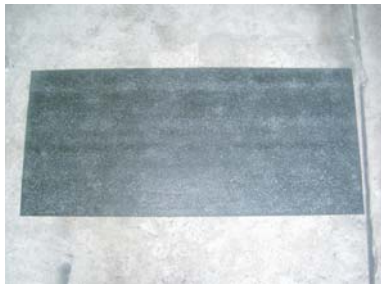
ロジングリップ 施工手順書

◆ 施工上の注意 ◆

- ① 天然樹脂を主成分とする材質のため、気温10℃以下の環境では脆く、割れやすくなります。冬期や寒冷地で施工される場合には、割れない様に取り扱いにご注意願います。施工直前まで暖かい場所に保管して頂ければ、柔軟性を保ち施工も容易になります。
- ② 施工するマンホール蓋にヒビやキズがないか必ず確認してください。特に安全性を重視する必要がある場合は「浸透深傷テスト」「音響検査」等を行ってください。
- ③ 加熱したマンホール蓋、ロジングリップには直接素手で触れないでください。

■ 施工前に準備するもの

1.材料



ロジングリップ (1.1m×0.5m)

2.清掃作業用具



ワイヤーブラシ、金槌、たがね、ほうき、ちりとり

3.裁断作業用具



針がね、がびょう、万能バサミ

4.加熱・冷却作業用具



ガスバーナー、温度計、ジョウロ、水、ぞうきん

※温度計は貼り付け面の表面温度が測定できるものをご使用ください。
(赤外線温度計など)

5.その他



ブロック、専用バール

■ 施工手順 (①～⑪)

① マンホール蓋を受枠から取り外し、蓋の表面を清掃する。

※土、アスファルトなどの付着物が残っていると、施工後シートが剥離する原因になりますので完全に取り除いてください。

※マンホール蓋にヒビやキズがないか必ず確認してください。

※取外しができない蓋についてはご相談ください。



② マンホール蓋をブロックの上に置く。

※熱により受枠や路面を傷めない為に、加熱作業はブロックなどの上で行ってください。

※マンホール蓋が動かないことを必ず確認してください。



③ マンホール蓋に合わせてシートの裁断サイズを決める。

※マンホール蓋を受枠に戻す際、バールなどで叩くスペースとして蓋の周囲を3～5cm空けておくことをお勧めします。



④ シート裏面に裁断サイズの印しをする。



⑤ 印しに沿ってシートを裁断する。

※シートが硬いのでカッターナイフでは刃がすべる恐れがあります。裁断には万能バサミを使用してください。



⑥ 裁断したシートを仮置きし、サイズを確認する。



⑦ マンホール蓋だけをガスバーナーで加熱する。

※マンホール蓋の全ての箇所が120～150℃になるように加熱してください。

※加熱不足の箇所は施工後シートが剥離しますので、温度管理は赤外線温度計などを使用して確実に行ってください。

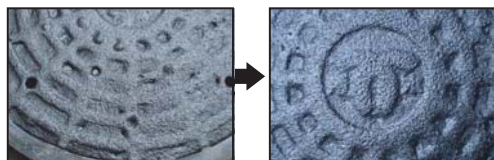


⑧ 加熱したマンホール蓋の上にシートを置く。



⑨ シートをガスバーナーで加熱する。

※円を描くように万遍なく加熱してください。
※加熱後直ぐは気泡ができたり、凹凸に沿わない箇所ができたりしますが、確実に加熱できていれば、下の写真のように徐々なじんできます。



⑩ マンホール蓋を冷却する。

※加熱後、冬期は10分、夏期は20分以上、自然冷却してからジョウロでゆっくりと水を掛けてください。



※急激に冷却すると施工後シートが剥離する原因になります。
※雑巾を被せ散水すると冷却時間が短縮できます。



⑪ 施工完了

※完全にマンホール蓋の温度が下がったことを確認し、受枠に戻してください。

※外径φ600mmのマンホール蓋に施工した場合の写真です。

